

## 国語科(国語)調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt; ○国語科の基礎的・基本的な知識・技能を習得する上で、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt; ○児童の言語活動を充実させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt; ○児童が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt; ○児童の言語感覚（言葉に対する正誤・適否・美醜などの感覚）を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt; ○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について、どのような工夫が見られるか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	表 記・表 現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の言語能力の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;"><b>新編 新しい国語</b></p> <p style="text-align: right;">東京書籍</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話す」「聞く」「話し合う」「説明・報告」の四つの系列に分け、計画的・系統的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○伝統的な言語文化を学ぶために、教材「日本の言の葉」を1年は1か所、2年以上は2か所設けている。また、高学年では、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</p>
<p>特色</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○単元末の「言葉」「漢字」欄や「漢字の練習」「言葉の広場」を配置し、漢字の習得を図り、語彙を蓄える工夫をしている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、始めにねらいを焦点化した教材を設け、最後に総合的な力をはぐくむ教材を設定している。また、「つながる」「ひろがる」を示し、既習事項を活用して多面的に読むことができるようにしている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○巻頭「言葉の学習を進めよう」において、学習の進め方を提示することで、見通しをもって学ぶことができるようにしている。単元ごとに「てびき」を掲載し、学習の手順や学び方を示すことで、学ぶ意欲を高めている。</p> <p><b>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</b></p> <p>○入門期の教材は、子供が野原で遊ぶ様子が描かれ、会話が想像できるように示されている。</p> <p>○単元の終わりに関連図書を示すとともに、「本は友達」の単元では、著名人の読書体験を紹介し、継続的な読書活動を促している。</p> <p>○「言葉の世界」では、学習場面、生活場面などの状況に応じた言葉の使い方について紹介したり、ふさわしい言葉を選択したりする教材を取り入れている。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b></p> <p>○伝統的な言語文化については、「日本の言の葉」を設け、音読や創作活動を通して古典などに親しむ教材を取り入れている。「日本語の調べ」として、季節の歌の歌詞を取り上げている。</p>
<p>資料</p>	<p>○領域ごとの学習内容一覧について、カットを利用して掲載している。</p> <p>○図書リストは、読書単元の後に関連付けた本を表紙写真と共に紹介している。</p> <p>○巻末「読書の部屋」に補充作品として物語を掲載している。</p> <p>○新出漢字一覧は、単元ごとに画数・音訓・筆順・用例を掲載している。</p> <p>○既習漢字は、五十音順で音訓・用例を掲載している。</p> <p>○1～4年は上下巻の二分冊、5・6年は合冊で構成している。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○分かち書きは、2年下巻までである。</p>
<p>総括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、てびきの「つながる」で既習の内容について明記し学習する内容の系統性を示している。</p> <p>○一教材一領域で学習のねらいを絞り、身に付けたい力を教材中に示すとともに、巻末で領域ごとにまとめて扱っている。</p> <p>○学年8～9か所に設けた「漢字の学習」のページで、1学年下の配当漢字の書く練習ができるようにしている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">みんなと学ぶ 小学校国語 <span style="float: right;">学校図書</span></p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「学級作り」「スピーチ」「話し合い・討論」「プレゼンテーション」の四つの系列に分け、計画的・系統的に学習できるよう構成している。</p> <p>○伝統的な言語文化を学ぶために、発達の段階に合わせて、昔話、神話、短歌、俳句、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</p>
<p>特色</p>	<p><b>内容</b></p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○単元末や巻末に領域ごとのポイント「国語のカギ」を示している。「言葉のきまり」や「漢字の部屋」等を配置し、語彙が増すように工夫している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○「読むこと」の領域では、学習のてびきの中に「表現にひらく」を設け、学習したことを活用できるようにしている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○「めあて」や「この単元の学習の流れ」で学習の見通しをもたせ、「学習のてびき」で学び方を示している。振り返りでは、学習を具体的に振り返らせ、活用したり次の学習や表現に生かしたりすることで学ぶ意欲を高めている。</p> <p>＜言語感覚を養うための工夫＞</p> <p>○入門期の教材は、動物たちの関わりが描かれ、そこから会話が想像できるように展開している。</p> <p>○単元の終わりに関連図書を示すとともに、巻頭、上巻、下巻に読書単元を設け、継続的な読書活動を促している。</p> <p>○「コミュニケーション」「メディアの目」では、一人一人のものの見方を広げたり、言葉を選んで表現したりする活動を取り入れている。</p> <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <p>○伝統的な言語文化については、声に出して読んだり、情景を想像したりするなど、児童が伝統を身近に感じられるようにしている。「やってみよう」を設け、古典などに親しむ活動を具体的に示している。</p> <p><b>資料</b></p> <p>○学習用語や領域を各学年に掲載している。</p> <p>○図書リストは、読書単元の後に案内文と表紙写真を紹介している。</p> <p>○巻末に補助作品として物語文や説明文を掲載している。</p> <p>○新出漢字一覧は、単元ごとに画数・音訓・筆順・用例・学習ページを掲載している。</p> <p>○既習漢字は、五十音順で音訓を掲載している。</p> <p>○各学年を通じて、上下巻の二分冊となっている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○分かち書きは、2年上巻の途中までである。</p>
<p>総括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、学び方を学ぶ教材を設けたり、言葉に関するページを設けたりしている。</p> <p>○習得した知識・技能を活用できるように、図解を用いた教材を設けたり、中学校で学習する漢字の読み方を示したりしている。</p> <p>○学校と家庭を繋ぐために、巻末に、この教科書でどのような力を習得させようとしているのかをまとめた保護者向けのページを扱っている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">小学生の国語</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">三省堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話し合い」と「説明・報告」を中心的な教材とし各学年で五つの系列に分け、計画的かつ系統的に学習できるように構成している。</p> <p>○伝統的な言語文化を学ぶために、音読・暗唱を学習の中心に据えた取り立て教材と関連教材を設定している。また、高学年では、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</p>
<p>特 内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b> ○各単元の直前に「新しい漢字を学ぼう」を配置し、例文を通して新出漢字の用法を学べるように工夫している。分冊「学びを広げる」では、同音異義語などを扱った、語彙を蓄える題材を掲載している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○図や写真を読む活動を取り入れた教材「プラザ」を各学年に配置し、場面や状況に応じて言葉を選び表現することができるようにしている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○巻頭の「〇年生で学習すること」において、学習の進め方を提示することで、見通しをもって学んだり、振り返ったりすることができるようにし、学ぶ意欲を高めている。</p> <p><b>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</b> ○入門期の教材は、野原で春を見つけた子供たちが登校する様子が描かれ、展開を想像しながら学習できるようにしている。</p> <p>○単元の終わりに関連図書を示すとともに、「あまんさんのへや」などのコーナーで、作家による読書紹介をし、継続的な読書活動を促している。</p> <p>○「言葉のポケット」では、言葉についての様々な教材を取り上げ、言葉について系統的に学べる単元を配置している。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b> ○伝統的な言語文化については、音読・暗唱を中心とした教材と各領域と関連した教材を設けている。分冊「学びを広げる」では、古典などに親しむ資料を紹介している。</p>
<p>色</p>	<p>資料</p> <p>○学習のめあてと領域との関連を各学年で掲載している。</p> <p>○図書リストは、案内文と表紙写真を紹介している。</p> <p>○分冊「学びを広げる」に補充作品として物語、説明文、文語調の文章を掲載している。</p> <p>○新出漢字一覧は、五十音順で画数、音訓、学習ページを掲載している。</p> <p>○既習漢字は、学習した学年ごとに五十音順で画数・音訓を掲載している。</p> <p>○1年生は、上下巻の二分冊。2～6年は合冊と資料としての分冊で構成している。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○分かち書きは、2年途中までである。</p>
<p>総括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、単元のはじめで、熟語、例文と共に新出漢字を扱っている。</p> <p>○巻頭で「〇年生で学習すること」の一覧を、巻末で「おぼえておきましょう」のまとめの一覧を、それぞれ領域ごとに分けて扱っている。</p> <p>○文字の確実な定着を図るために、3～6年生の巻末で「ひらがな・かたかな・ローマ字の表」と「ローマ字のきまり」を扱っている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">ひろがる言葉 小学国語</p> <p style="text-align: right;">教育出版</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「日常化をはかる」「スピーチ」「話し合い」「説明・報告」の四つの系列に分け、計画的かつ系統的に学習できるよう構成している。</p> <p>○伝統的な言語文化を学ぶために、「文化」という項目を設けて、昔話、神話、短歌、俳句、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</p>
<p>特色</p> <p>特 内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○各単元に領域ごとのポイント「ここが大事」を示している。各学年に「言葉の使い方を考えよう」や「漢字の広場」「言葉の木」(付録)など、漢字の習得、定着や、語彙を蓄えることを意図した教材を掲載している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「話すこと・聞くこと」の領域では、児童の興味・関心のある内容を題材として取り上げ、多様な場や形式を設定して、取り組むことができるようにしている。「読むこと」の領域においては、読んだことをもとに想像して書く活動を取り入れている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○単元のはじめに、具体的な言語活動を示すことにより、見通しをもち、学ぶ意欲を高めて取り組めるようにしている。穴あき加工やポップアップカード等を掲載している。</p> <p><b>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</b></p> <p>○入門期の教材は、動物たちが遊ぶ様子が描かれ、展開を想像しながら学習ができるようにしている。</p> <p>○単元の終わりに関連図書を示すとともに、学校図書の利用方法や情報収集の方法を提示し、継続的な読書活動を促している。</p> <p>○言葉の働きや使い方について学ぶ単元を各学年に配置し、具体的な場面や状況をもとにして、言葉を選んで表現する活動を多く取り入れている。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b></p> <p>○伝統的な言語文化については、「文化」の項目を設け、音読や創作活動を通して、古典などに親しむことができるようにしている。四季の言葉や歳時記等も取り上げている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○領域との関連や、言葉の特徴やきまりを各学年に掲載している。</p> <p>○図書リストは、巻末折込に、テーマごとの案内文と表紙写真を紹介している。</p> <p>○上下巻の付録に、補充作品として文学作品、説明文を掲載している。</p> <p>○新出漢字一覧は、巻末資料前に画数、音訓、筆順、用例、部首、学習ページを掲載している。</p> <p>○既習漢字は、学年ごとに音訓を巻末資料前に五十音順に音訓が掲載している。</p> <p>○全学年を通して、上下巻の二分冊となっている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○分かち書きは、2年上巻途中までである。</p>
<p>総 括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用を図るために、日常生活や他教科等でも活用できる書く力や話したり、聞いたりする力をつけるための単元を配置している。</p> <p>○「この本で学ぶこと」で学習した内容を一目で把握したり、「言葉の木・星座」で言語の広がり意識したりできるように工夫している。</p> <p>○より多くの人に見やすいようにカラーユニバーサルデザインを採用し、配慮して作成している。</p>

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>国語</b></p> <p style="text-align: right;">光村図書出版</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話す」「聞く」「話し合う」言語活動の中に「受けて返す」系列を設け、計画的かつ系統的に学習できるように構成している。</p> <p>○伝統的な言語文化を学ぶために、全学年に民話や昔話などを聞いて楽しむ教材を位置づけ、高学年では、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○単元名・リード文でめあて、学習活動を示し、各単元末の「たいせつ」で学習のポイントをまとめている。「言葉」や「漢字の広場」を配置し、漢字の習得と定着を図り、語彙を蓄えることを意図している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域では、「あなたは、どう思う」などを問い、児童が思考したり判断したりできるようにしている。「読むこと」の領域においては、学習内容をもとに自分の考えを深めたり、交流したりするための活動を示している。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各領域の「自分の考えをもとう」「ふり返ろう」において、自分の考えをもち、自分の言葉で学習を確認できるようにし、学ぶ意欲を高めている。</p> <p><b>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</b></p> <p>○入門期の教材は、大勢で友だちと遊ぶ様子が描かれ、挨拶や会話を想像できるように展開している。</p> <p>○単元の終わりに関連図書を示すとともに、「本は友達」の単元では、自分と本の関わりを振り返らせ、継続的な読書活動を促している。</p> <p>○「言葉のたから箱」では、一人一人が場面や状況に応じて言葉を選び、表現に生かせる活動を取り入れている。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b></p> <p>○伝統的な言語文化については、「季節の言葉」を設けている。言葉の響きやリズムについて、音読したり聞いたりすることで古典などに親しめるような教材を取り上げている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○領域ごとの学習内容一覧や言葉の特徴を掲載している。</p> <p>○図書リストは、巻末に案内文と表紙写真を紹介している。</p> <p>○巻末に、補充作品として物語や説明文を掲載している。</p> <p>○新出漢字一覧は、単元ごとに画数、音訓、筆順、用例、学習ページを掲載している。</p> <p>○既習漢字は、五十音順で音訓を掲載している。</p> <p>○1～4年生は、上下巻二分冊。5・6年は合冊で構成している。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○分かち書きは、2年上巻途中までである。</p>
<p>総 括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、単元のはじめに単元目標を提示し、つきたい力や言語活動を明示している。</p> <p>○「読むこと」で習得した知識・技能を「書くこと」で活用できる単元の配列にしている。</p> <p>○巻頭に「いつも気をつけよう・続けてみよう」を掲載し、既習事項を振り返ったり、書くことを継続する方法を紹介したりしている。</p>

国語科（国語）調査資料2

○分量について

		東書	学図	三省堂	教出	光村
1 総ページ数 ※ページ番号のない部分も含む。	1年	314	264	261	286	274
	2年	352	294	254	298	278
	3年	368	300	278	302	294
	4年	360	312	278	312	300
	5年	299	338	294	310	285
	6年	291	340	310	330	285
2 巻末資料、付録等の総ページ数 ※ページ番号のない部分も含む。	1年	69	40	60	26	22
	2年	82	68	49	40	38
	3年	94	72	55	44	50
	4年	90	68	57	52	54
	5年	60	80	59	62	54
	6年	68	98	69	94	48
3 単元数	1年	5	8	5	10	11
	2年	9	15	11	16	13
	3年	9	12	10	17	11
	4年	9	12	10	17	11
	5年	9	12	10	14	9
	6年	9	12	11	15	9

○領域別教材数等について ※( )内は資料編等の中の教材及び資料数。

		東書	学図	三省堂	教出	光村	
1 教材数 ※扉の部分の詩も教材数に含む。	1年	51(17)	62(11)	50(19)	64(11)	61(9)	
	2年	57(15)	65(15)	51(10)	52(16)	57(12)	
	3年	55(22)	69(14)	53(17)	52(12)	62(15)	
	4年	55(23)	68(14)	53(17)	51(13)	55(15)	
	5年	45(12)	68(14)	50(19)	50(16)	60(12)	
	6年	44(11)	62(17)	51(19)	47(16)	53(11)	
2 領域別教材数	① 話すこと・聞くこと	1年	6(1)	10	8(2)	7(1)	8
		2年	5(3)	5(2)	5(1)	5(2)	5(2)
		3年	4(5)	6(2)	5(2)	6(2)	6(2)
		4年	4(5)	7(2)	5(3)	5(2)	5(2)
		5年	4(3)	5(2)	5(2)	5(2)	5(1)
		6年	4(3)	4(2)	5(2)	4(3)	6(1)
	② 書くこと	1年	9(1)	7	7(2)	11(1)	6(1)
		2年	9(3)	6(2)	7(2)	8(3)	7(2)
		3年	8(5)	7(2)	7(2)	6(3)	6(2)
		4年	8(6)	7(2)	6(2)	6(3)	6(3)
		5年	6(3)	7(2)	6(2)	5(4)	6(1)
		6年	5(3)	9(2)	6(2)	6(2)	6(1)

2 領域別 教材数	③ 読むこと	1年	18(5)	19(3)	15(4)	18(1)	20(2)
		2年	13(6)	17(4)	14(3)	15(2)	14(5)
		3年	13(7)	15(4)	13(6)	14(2)	16(5)
		4年	13(6)	16(4)	13(6)	13(2)	14(4)
		5年	13(4)	15(4)	12(6)	15(4)	18(4)
		6年	14(4)	14(4)	13(7)	14(6)	17(3)
	④ 伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	1年	17(10)	22(7)	18(9)	23(8)	21(6)
		2年	23(7)	33(7)	23(5)	22(11)	24(5)
		3年	23(11)	37(6)	26(8)	24(7)	25(8)
		4年	23(12)	34(6)	27(7)	25(7)	24(8)
		5年	18(6)	37(7)	25(10)	24(8)	25(6)
		6年	17(6)	31(9)	25(9)	23(7)	18(6)

○文種別教材数について ※( )内は資料編等の中の教材数。

		東書	学図	三省堂	教出	光村
1 物語・小説・随筆	1年	8(3)	6(3)	7(1)	8	9(1)
	2年	6(3)	5(3)	5(2)	7	6(3)
	3年	6(3)	4(3)	4(2)	5	5(2)
	4年	5(2)	4(3)	5(2)	5	5(2)
	5年	4(1)	5(3)	3(1)	3(1)	4(2)
	6年	6(1)	3(3)	7(6)	6(3)	4(1)
2 詩・短歌・俳句 ※巻頭詩、文語調の短歌・俳句等を含む。	1年	7	7	6	7	10(3)
	2年	8	6	5	6	14
	3年	9(1)	7(1)	5	8	16
	4年	8	7	5(1)	6	15
	5年	7	7	4	9(1)	9
	6年	8	6(1)	5	7	9
3 説明的文章	1年	3(1)	5	4(1)	5	6
	2年	4(1)	6(1)	3	3	5
	3年	4(1)	5	3	3	5
	4年	4(1)	6(1)	3(1)	3	6
	5年	5(2)	6(1)	4(2)	4	6(1)
	6年	4(1)	8(1)	3	3(1)	5(1)
4 文語調の文章 ※漢文・和歌・川柳等を含む。	1年	0	0	0	0	0
	2年	1	0	0	1	0
	3年	1	0	0(3)	0	1
	4年	1(1)	0	0(1)	2(1)	0(1)
	5年	2	3	1(2)	4(1)	7(2)
	6年	1	2(1)	3(3)	2(4)	2

○その他 ※( )内は資料編等の中の教材数。

		東書	学図	三省堂	教出	光村
学校図書館の活用に関する教材数 (読書案内・読書活動を含む。)	1年	3(5)	4(4)	3(6)	5(3)	4(2)
	2年	2(5)	4(6)	4(3)	2(4)	3(5)
	3年	2(3)	4(6)	4(6)	2(4)	3(4)
	4年	2(3)	4(6)	3(6)	2(5)	2(5)
	5年	2(2)	4(5)	4(6)	1(6)	2(4)
	6年	2(2)	4(7)	4(7)	0(9)	3(4)